

アガーさんと18町村

デンマークでPG普及を

現地でコース造成のアガーさん

幕別訪れ講習やプレー楽しむ

つた。同国も日本同様、高齢化が進み、お年寄りの健康づくりにPGが最適と、自身でコース造成に乗り出した。

昨年、アガーさんは帯広や幕別のPG場を視察。公益社団法人「日本パークゴルフ協会」(NPGA、前原懿会長)で、コースデザインなどアドバイスを受けた。現在36ホールを造成中

で、8月1日にプレオープン、来年6月に本格オープンを目指している。

アガーさんは「ゴルフは高齢者にとつて歩く距離が長すぎる。ヨーロッパの人は競争することを好む。PGは距離も適度で、競争心も生まれ、健康づくりに役立つ。交流の場にもなる」とPGを評価している。今回は4月26日に来日

【幕別】デンマーク国内にパークゴルフ(PG)コースを造成している、同国の会社社長ニコライ・アガーさん(63)が2日、役場を訪れ、岡田和夫町長を表敬訪問した。アガーさんは「PGは素晴らしい。デンマークで広めたい」と話した。

アガーさんは、産業動物医療・農場のコンサルタント会社を経営している。十勝に留学経験のある知人を通して、2年前にPGを知



岡田町長とパークゴルフについて語るアガーさん(右)

し、幕別近郊のPG場を視察、NPGAでルールやマナーを学ぶ講習を受けた。PG発祥の「つつじコース」でプレーも楽しんだ。

岡田町長は「デンマークでPGが普及することを願っている。これを機会に交流が深まれば」と話していた。

(平田幸嗣)